

学力向上のための取り組み

- ・ 日課表を工夫し，ドリル学習の時間を設定し，基礎学力の向上をめざす。
また，2校時と3校時の業間休みを長くし，休み時間を充実させ，学習時間との切り替えをはっきりさせることで学校生活にメリハリがつくようにする。
- ・ 火曜日から金曜日までの朝の活動の時間を「朝の読書」に統一し，読書活動の充実を図る。音読については，学年の実態に合わせて，朝の会や学習時間等，様々な場や機会に取り入れるようにする。
- ・ 家庭学習の習慣化，家庭での読書を推進
- ・ 「生活点検表」による毎月我的生活目標の反省。

平成22年度の「学力・学習状況」改善プラン

重点目標：豊かな表現力と確かな読解力を身につけた児童の育成。		
具体的目標	数値目標	具体的方策
自己表現の場を設定し，話す・聞く力を育成する。	下学年 3文以上のスピーチ 上学年 1分間スピーチ	朝の会や帰りの会でスピーチや音読に取り組む場を設定する。 苦手な子には，テーマを与える等の手立てを考える。
基礎学力を向上させる。	漢字・計算チェックテストで学級の8割以上の児童が80点以上とれる。	月ごとに到達目標の計算と漢字を決めて，ドリルの時間等に繰り返し練習させ，月末にテストをする。
読書の幅を広げ，読書の楽しさを味わわせる。	学年で一人あたりの年間読書冊数を決める。 1年... 60冊以上 2年... 50冊以上 3年以上... 30冊以上	P T A ボランティアと協力し，学級文庫の充実を図る。 時間を守り全校一斉に「朝の読書」に取り組む。

重点目標：規範意識を高め、望ましい学習態度を身につけた児童の育成。		
具体的目標	数値目標	具体的方策
月目標を決め、規範意識を高め、挨拶の響く学校を目指す。	月末に月目標の反省をし、達成率80%以上にする。	全校朝会で月目標について話し、理解の徹底を図る。教室に月目標を掲示し、毎日確認し、守ることを意識づける。 生活点検表で毎月生活をふり返る機会を設ける。 「あいさつ運動」に全校で取り組む。

児童の生活点検表の項目

- ・家庭学習をした。
- ・忘れ物をしなかった。
- ・自分から元気よくあいさつをした。
- ・「ありがとう」と感謝の言葉を使えた。
- ・廊下や階段を静かに通れた。
- ・トイレのスリッパを並べた。
- ・外で元気よく遊んだ。
- ・【早寝・早起き・朝ご飯】が守れた。